

卒業生のいま



守山市立守山南中学校 教諭 なかの せいじ 中野 誠治さん

■ Profile 滋賀県立彦根東高校から滋賀大学へ。平成24年3月、教育学部学校教育教員養成課程理数教育コース卒業。同年4月から守山市立守山南中学校に赴任し、6年目。現在、数学教員として3年生4クラスを担当し、3年生を担任。OJTリーダーとして研修会を計画しながら、若手教員の指導・養成にあたる。野球部顧問。県の中学校体育連盟の軟式野球専門部強化育成部長として、選手の育成に努める。

大学在学中にバックパッカーでアジアやヨーロッパを行脚 国際交流を通じて視野を広げ、教員として器の大きな人間になる

■ 野球を通じて教育に携わりたい

幼い頃からずっと野球をやってきたので、教員なら指導者として野球に携われると思い、滋賀大学の教育学部へ。しかし、その後、もっと視野の広い心豊かな人間になりたいと思い、オーストラリアの語学学校への短期留学を機に、時間を見つけて世界各国を旅して周るようになりました。旅行費用などは、バイトを掛けもちして稼いでいました。

3回生の時、運命の出会いがありました。バングラデシュから来日したジャーナリストのお世話をした時のこと。野球の練習を見た彼に「あれは何ですか?」と聞かれ、説明をするうちに、世界各国の中で見ると野球ができるのは一握りの裕福な人たちに過ぎないことを知ったのです。高校時代から発展途上国の人々の役に立ちたいという思いもあり、自分の役割は野球を指導することではなく、野球を通じて夢を持つことや努力の大切さを子どもたちに伝えることではないかと気づかされたのです。それからは本気で教員をめざして勉強するようになりました。

■ 在学中に国際交流団体を設立



在学中に仲間4人で「CIS(コネクト インターナショナル ソサエティ)」という国際交流を目的とした団体を立ち上げました。留学や海外旅行には費用もかなりハードルも高いので、もっと身近なところで海外との掛け橋を作れないかと思ったのです。学内や県内の留学生と一緒にキャンプや交流会をするなど幅広



い活動を行い、現在も年に数回、設立時の思いを伝えるに母校を訪れています。

ゼミの先生にはCISの活動に対しご理解やご協力をいただき、大変お世話になりました。設立時のメンバーのほとんどが教員採用試験に一発で合格していることから、在学中の活動が大いに役立っていると思います。滋賀大学が僕らを育ててくれました。

■ 自ら学び、考える時間を大切に

守山南中学校は県内でも有数の大規模校で、生徒の顔と名前を覚えるのが大変です(笑)。最近、「E-Community」「教育の設計図」という教育支援団体を立ち上げました。いろいろな方々とつながることができた自分の経験を、地域や現場に還元できればと思います。

自ら学ぶとしなかつたら、何も学べないのが大学。考える時間もたくさんあるので、積極的に自分から動いているいろいろな人と交わり、出会った仲間を大切に幅広くチャレンジしてほしいですね。その経験が広い意味で教育にもフィードバックされます。

三菱商事株式会社 おおわき ゆか 大脇 由佳さん



■ Profile 愛知県立一宮高校から滋賀大学へ。平成29年3月、経済学部ファイナンス学科卒業。同年4月三菱商事株式会社に入社。産業機械事業本部 建設機械・レンタル事業部 海外レンタル事業チームに配属される。3回生の時、半年間ニューヨークのビジネススクールで学び、エチオピアへ。教育関係のインターンシップに参加し、英語絵本を提供するプロジェクトを立ち上げる。得意なスポーツはバレーボール。

海外武者修行で身に付けたグローバルな視点を活かし、 途上国の産業基盤整備と日本の経済発展に貢献する

■ ゼミで鍛えた専門性とグローバルな問題意識



昔、教科書で見た1枚の写真が深く脳裏に焼き付いて、アフリカに強い興味を覚えるようになりました。それはタカに食べられそうになった子どもの命が野生の脅威にさらされるアフリカの現実に衝撃を覚えたのです。

いつかこうした途上国の人々の力になりたい。また、将来はビジネスの世界に身を置きたくて経

済学を学ぼうと滋賀大学に入学しました。

受験勉強から解放されて“人生の夏休み”を謳歌するような風潮には流されまいと、入学当初から勉強にもアルバイトにも全力投球。その結果、成績優秀者に選ばれ、バイト先の大手進学塾では“滋賀県トップ講師”の評価を頂きました。

宮西ゼミでは企業分析や財務諸表分析など専門性を徹底的に鍛えあげられ、グローバルな視点の重要性などにも気づかせて頂き、向上心が強く志の高い仲間たちと切磋琢磨しながら自らを高めていくことができました。

■ 海外武者修行の旅で志した総合商社への道

社会に出る前に海外で腕試しがしたくて、1年間休学して武者修行の旅に出ました。半年間、ニューヨークのビジネススクールで世界最先端のビジネスモデルを学んだ後、念願のアフリカへ。エチオピアで教育関係のインターンシップに参加し、英語絵本で日本文化を紹介するプロジェクトを立ち上げたのです。絵本の制作は日本の美大生に依頼。現地でのプレゼンでは多くの

人々が私の思いに熱心に耳を傾けてくれました。異文化の壁に阻まれ、思い通りに事が運ばず何度も涙を流しましたが、多くの御協力を頂き、発刊にこぎつけた時はこれまでにない達成感を味わうことができました。

就職先に総合商社を志したのは、ゼミでの勉学と海外経験が大きく影響しています。多方面のチャンネルを持ち、途上国の産業基盤を整えることで日本経済の発展に貢献できる総合商社がとても魅力的。中でも三菱商事は国を動かせるようなビジネスができる数少ない企業の1つだと思っています。

■ 自らの限界を決めず、夢の実現に向かって努力

現在はタイの事業投資先の主管業務の担当補佐及び新規事業投資案件にも携わらせて頂いています。

いち早く事業投資先の担当となることを目標に、日々仕事に精進しているところです。

在学生の皆様は、自分の限界を決めず志を高く持ち、夢の実現に向けてあらゆるチャレンジをしてください。

滋賀大学の学生であることに誇りを持ち、挑戦し続けることで必ず夢は実現できると信じております。

